

テーマ 「見える化」による業務改革とそれを支える公平な評価制度

「見える化」というと、MISやBIなどのシステムの話になりがちです。しかし、不揃いで鮮度が低いデータによる結果管理だけでは実際の経営判断には使えません。いい結果を出すためには、効果的な「見える化」による先行管理で、従業員それぞれが日々の行動を自発的に変えていかなければならないのです。その一方で、変化によって効果が得られても、給与・待遇がそのままだったらモチベーションが下がっていきます。その変化を持続させるために必要となるのが、透明で公平な評価制度なのです。

- ◆ 日 時 : 平成29年9月1日(金) 10:00~12:00
- ◆ 会 場 : アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3-55
- ◆ テ ー マ : 「見える化」による業務改革とそれを支える公平な評価制度
- ◆ 講 師 : 作道印刷株式会社 代表取締役 作道孝行 氏 (全日本印刷工業組合連合会副会長)
- ◆ 受講申込 : 次のいずれかによりお申し込みください。
 - ①別紙受講申込書に必要事項を記入の上、FAX(011-595-8072)へ送信する。
 - ②北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>) から専用フォームにより申し込む。
- ◆ 申込期日 : 平成29年8月25日(金)〔定員になり次第締め切ります〕

講師紹介



作道孝行 氏 作道印刷株式会社 代表取締役

1962年大阪府生まれ(54歳)。

1986年に同志社大学を卒業後、作道印刷に入社。パッケージ・商業印刷、出版印刷と幅広く営業活動を行う。1995年より社内システムの担当となり、自社の見積管理・受注管理・原価管理のシステムを開発する。また、カタログ作成における商品DBの開発や、自動組版の研究開発をし、制作工程の効率化を図る。2001年に代表取締役に就任。現在は全社的な合理化・Web活用による顧客サービス強化などの推進を行っている。

主な役職歴

1986年	(昭和61年)	作道印刷株式会社入社
1996年	(平成8年)	作道印刷株式会社 取締役
2001年	(平成13年)	作道印刷株式会社 代表取締役
2004年	(平成16年)	大阪府印刷工業組合 理事
2005年	(平成17年)	大阪青年印刷人クラブ 会長
2008年	(平成20年)	大阪府印刷工業組合東和支部 支部長 / 大阪府印刷工業組合 常務理事 (経営革新マーケティング委員会 委員長)
2009年	(平成21年)	全国印刷緑友会 会長
2010年	(平成22年)	大阪府印刷工業組合 副理事長
2012年	(平成24年)	全日本印刷工業組合連合会 常務理事 (教育研修委員会 副委員長) / 近畿地区印刷協議会 会長
2016年	(平成28年)	全日本印刷工業組合連合会 副会長 / 大阪府印刷工業組合 理事長 / 大阪印刷関連団体協議会 会長

主 催 : HOPE実行委員会

(北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合)

後 援 : 経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道中小企業団体中央会、札幌商工会議所、北海道中小企業家同友会



HOPE 2017
HOKKAIDO PRINT EXPO

《パネルディスカッション》

全印工連2025計画

「リ・デザインで、印刷はこう変わる!」

2016年に発表された『全印工連2025計画』。「印刷」という言葉が持つ固定化されたイメージを「新しい印刷産業へのリ・デザイン」として再定義しつつ、2025年の社会の姿を想像し、その中で印刷産業がなくてはならない産業としてどのような役割を担っていくべきなのかという、産業全体のビジョンを示した「設計図」とも言えるべき提言書です。『全印工連2025計画』の発行に直接・間接に関わった5名の当事者と、この提言書が示す印刷の未来について考えます。

- ◆ 日 時 : 平成29年9月2日(土) 10:00~12:00
- ◆ 会 場 : アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3-55
- ◆ テー マ : 全印工連2025計画「リ・デザインで、印刷はこう変わる!」
- ◆ 受講申込 : 次のいずれかによりお申し込みください。
 - ①別紙受講申込書に必要事項を記入の上、FAX(011-595-8072)へ送信する。
 - ②北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>) から専用フォームにより申し込む。
- ◆ 申込期日 : 平成29年8月25日(金)〔定員になり次第締め切ります〕

ファシリテーター

江森克治氏
株式会社協進印刷 代表取締役



早稲田大学商学部卒業。2007年、地方自治体初の本格的CSR認定制度「横浜型地域貢献企業認定制度」を産学官連携で立ち上げる。2010年~11年、全国青年印刷人協議会議長に就任。2012年、業界団体としては日本初となる「全印工連CSR認定制度」創設に携わる。2013年、全日本印刷工業組合連合会から発行の『印刷道〜ソリューション・プロバイダーへの深化〜』編集委員。2016年『全印工連2025計画〜新しい印刷産業へのリ・デザイン〜』編集責任者。同年平成28年度コンテンツ産業強化対策支援事業（中小印刷産業の知財活用に関する調査事業）委員。

パネリスト

池田幸寛氏
池田印刷株式会社 代表取締役



東京工芸大学卒業後、池田印刷株式会社に入社。在職しながら中小企業大学校経営戦略コースに通う。平成7年4月代表取締役に就任し現在に至る。企業として得意な分野は感性価値の印刷物ではあるが、印刷会社として品質以外に他社との差別化と社会的責任を考え、CSRを経営の根幹とし、平成15年にISO14001を取得後、ISO9001、Pマーク、GP、MUD、FSC認証等CSRの原点となる認定を取得。平成17年よりCSRレポートを発行し、本年12年目（vol.12）となる。この地道な活動が現在、日本社会でも要求される時代となり全日本印刷工業組合連合会にて全国の同業仲間へ情報を開示し、1社でも多くの印刷業社が地域に信頼される企業になるよう同島村会長よりミッションが下り、同常務理事、CSR推進専門委員会委員長を歴任し、現在は環境労務委員会委員長。

パネリスト

滝澤光正氏
滝澤新聞印刷株式会社 代表取締役



1965年東京都にて出生、早稲田大学教育学部卒業。他業界で6年間の勤務を経て、1992年、滝澤新聞印刷株式会社（東京都新宿区）入社、2005年より代表取締役。2012~2014年、全印工連全国青年印刷人協議会議長。2012~2016年、全日本印刷工業組合連合会産業戦略デザイン室委員、「印刷道〜ソリューションプロバイダーへの深化」『全印工連2025計画〜新しい印刷産業へのリ・デザイン〜』の発刊に携わる。2016年2月、東京にて開催された「Print Next 2016」において運営委員長を務める。現在、全日本印刷工業組合連合会副会長、同産業戦略デザイン室委員長、東京都印刷工業組合副理事長。

パネリスト

瀬田章弘氏
弘和印刷株式会社 代表取締役



1966年東京生まれ。1989年中央大学商学部会計学科卒。1989年、現ハイデルベルグ・ジャパン株式会社入社。1993年、家業である弘和印刷株式会社入社。1999年、クリエイティブプロダクション株式会社アイズを設立。2004年、弘和印刷株式会社代表取締役に就任。2006~2007年、全国青年印刷人協議会副議長、2012~2016年、全日本印刷工業組合連合会常務理事経営革新マーケティング委員長、同産業戦略デザイン室副委員長、2016年~同参与、産業戦略デザイン室委員、東京都印刷工業組合総代・理事・足立支部長。

パネリスト

小野綾子氏
株式会社プライズコミュニケーション 代表取締役



1956年帯広市生まれ。1980年、プライズコミュニケーションの前身に入社。総務・経理を経験し、1992年、取締役として財務担当。2000年、負債30億円にて会社経営破綻、民事再生申立て。同年4月代表取締役に就任。2010年、債務の完済。2014年、新規ベトナム事業に参入。商品開発から製造販売までのメーカーとして歩む。2016年、全日本印刷工業組合連合会常務理事・ダイバーシティ推進委員長に就任し現在に至る。

パネリスト

三島秀夫氏
六三印刷株式会社 専務取締役



1963年、東京都国立市出身。スポーツ用品販売会社で営業、テニスの指導に携わる。1992年、六三印刷株式会社入社。製造管理部門を中心に従事し、ISO14001、ISO27001などの管理責任者を勤める。2015年、同社専務取締役。全日本印刷工業組合連合会では全国青年印刷人協議会副議長、CSR推進専門委員会副委員長、女性活躍推進委員会副委員長などをつとめたのち、2016年に常務理事（CSR推進専門委員会委員長）に就任。

主 催 : HOPE実行委員会
(北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合)

後 援 : 経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道中小企業団体中央会、札幌商工会議所、北海道中小企業家同友会